県立和歌山北高等学校　学校運営協議会

令和4年度　第２回【10月21日（金）14時30～和歌山北高等学校西校舎応接室】

出席者：１０名（教職員含む）

議題

①授業・施設見学について
②学校運営状況について
③今後の和歌山北高校の在り方について

議論した主な内容

①西校舎6時間目の授業時の生徒活動状況を見学。１人１台パソコンやパワーポイントを使用しての授業の必要性や少人数編成による一人ひとりへの手厚い授業の大切さ、双方向のやりとりによる授業形態の大切さ、体験授業を取り入れたり、生徒同士が教え合う素晴らしさ等について協議した。今後はＩＣＴ環境を有効に使いながら、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現が課題である。
②各校舎より7月～10月の生徒の活躍や学校行事について報告があり、特にインターハイ、国体には例年を大きく上回る選手が出場し活躍した。
③学校という場を核として、地域住民同士の絆が深まり、学校間の連携を進め、地域全体で子供を育てようという意識が高まることを目標として、今年度は和歌山北高校スポーツ・芸術に触れる地域交流会実行委員会を立ち上げた。わかやまスクールパワーアップ事業の支援もいただきながら、地域にとっても学校にとってもプラスになる、スポーツや文化を中心とした地域交流会を企画し実行する。具体的には、地域の小学校に北高生が出向き、ハロウィンイベントや、スポーツイベント、吹奏楽部による演奏を行ったり、楠見地区公民館や自治会の協力も得て、小学生・中学生・地域住民を本校グラウンドに招いて花火パフォーマンスイベントを開催する。また、茶道部によるお茶会には地域の婦人会の方々をお招きし交流を行う。このように地域、学校がともに元気になることを目指していく。
本校制服について協議した。女子のスラックスを来年度より導入出来るよう検討する。また、男女ポロシャツを暑さ対策として準制服扱いに向け検討していく。
スポーツの北高として特色科選抜（スポーツ）のさらなる充実に向け検討した。また、普通科にスポーツコース等を導入する必要性も検討した。今後はHP等で生徒の活躍等を動画等も含めて広報する必要がある。

第２回運営協議会の様子